

2018. 4. 9



2018年度が始まりました。

本校自慢の桜も5日に行われた入学式では、すでに盛りを過ぎており、少し残念に思いましたが、205名のピカピカの新生を迎え、嬉しい春を迎えました。

新生は大きな期待と少しの不安を胸に本校の正門をくぐってきました。2・3年生と職員一同は全学年が揃う4月5日を心待ちにしていました。在校生にはいつも伝えているところですが、全教職員が「同じ時代に生まれてくれてありがとう」「鶴嶺中に通って来てくれてありがとう」の気持ちで新生を迎えました。

中学校の3年間は人生の中でもっとも大きく変化・成長を遂げる楽しみな時期です。思春期を迎え、揺れ動く時期ではありますが、周囲の支援により心身ともに大きく成長していくの間近に見ることができることは、私たち教職員の何よりの喜びです。この3年間で、学習や部活動等あらゆる教育活動を通して「人間的成長」を支援してまいります。

学校生活を充実させるために、まず必要なのは、一人ひとりの「安心・安全」が守られることです。誰一人として、いじめ等で安心・安全が脅かされることがあってはなりません。保護者・地域の皆様におかれましては、これまでどおり温かく見守ってくださいますようお願い申し上げますとともに、心配な点や気になることがございましたら、遠慮や躊躇をなさらずに担任をはじめ教職員にお知らせくださいますようお願い申し上げます。1年生の保護者の皆様には、入学式後の体育館でお話しましたが、2・3年生の保護者の皆様におかれましては、最初の学年・学級懇談会にて、校長からも生徒の素晴らしい様子や「いじめ」についてお話をしたいと考えています。本年度からは、2・3年生については、すでに学級役員さんも決めていただいておりますので、何卒多数のご参加をお待ちしています。

13日(金)の授業参観へのご来校を職員一同、心よりお待ちしております。お子様に「来るな!」と言われても、そんなことは気にせずにお気軽にお越しください。中学生は意外に喜んでくれるものです。

本年度の在籍生徒数

1年	男子	女子	合計	2年	男子	女子	合計	3年	男子	女子	合計
A組	21	18	39	A組	19	17	36	A組	17	19	36
B組	21	18	39	B組	19	17	36	B組	16	19	35
C組	22	18	40	C組	20	16	36	C組	17	18	35
D組	22	18	40	D組	19	16	35	D組	17	18	35
E組	22	18	40	E組	19	16	35	E組	17	18	35
**	***	***	***	**	***	***	***	F組	17	18	35
I組	3	4	7	I組	3	0	3	I組	3	1	4
合計	111	94	205	合計	99	82	181	合計	104	111	215

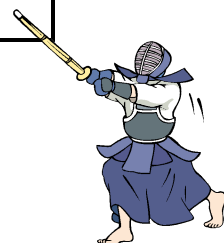
合計601名(男子314名・女子287名)

本年度の教職員紹介

	1年	2年	3年	校長 佐野 実	教頭 柴田 佳世子
主任	山下 裕子	雨宮 一臣	間井 雄三		級外職員
A組	篠 光太郎	野中 靖史	近藤 英		養護教諭 日野 厚子
B組	奥原 海	松本 裕貴	藤井 聡		事務主幹 根岸 清美
C組	白石 真由美	荒川 融	伊藤佳乃恵		教育施設業務員 高橋 洋平
D組	伊藤 勇太	小室 早智	笹岡 奈央子		同 菊地 祥子
E組	平山 友朗	岡 明德	米山 陽裕		同 五十嵐 礼子
F組	****	****	桜松 陽平		スクールカウンセラー 小島由起子
	菊地 晋司	小山 睦美	上田 誠		心の教育相談員 内藤 徳子
	笠原 大輝	寺山 香	清水めぐみ		学校図書館嘱託員 遠藤美也子
		藤田 勝			
		友宗みなみ			
IA組	日下部直美	ふれあい補助員 (I組担当)		小谷 香・荒木智恵美	
IB組	小峯 衣麗	ふれあい補助員 (通常級担当)		古谷美穂	
IC組	小瀬村雄己	ふれあい補助員 (個別支援担当)		秋吉 博	

部活動等顧問紹介

吹奏楽(伊藤佳乃恵・山下) 水泳(近藤・笹岡) 家庭(小室・白石)
 野球(桜松) 陸上(菊地・笠原) 剣道(伊藤勇太) 演劇(日野)
 美術(清水) 卓球(荒川) 男女バスケットボール(野中・岡・米山)
 男子ソフトテニス(篠・間井) サッカー(平山・奥原) 科学(雨宮)
 女子ソフトテニス(松本) 女子バレーボール(藤井・上田) 生徒会(白石・山下)



部活動運営委員会・部活動休養日等について

4月4日(水)15時より部活動運営委員会を開催しました。保護者代表の皆様にはご多用のところご参加いただき有難うございました。生徒が生き生きと活動できる部活動をみんなで支えられることが一番であることを確認いたしました。代表の方だけではなく、保護者の皆様には、様々な場面でご支援・ご協力いただくことが多いと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

なお、別紙本日付けにて配付いたしました教育委員会からの文書のとおり、部活動休養日の施行についてのお知らせも合わせてご承知ください。

また、部活動懇談会の折にもお話ししますが、部活動での練習試合や大会等に参加する場合の自転車移動につきましては、4月より自粛しております。生徒の安全確保のため、市内校長会において申し合わせています。友達の応援に出かける際の自転車利用につきましても自粛いたします。ご承知おきください。

本校では、保護者向けの学校便り「鶴嶺」の他に、生徒向けの便り「Dear Students ～親愛なる鶴嶺中の皆さんへ～」を発行しています。保護者の皆様にもご覧いただければ幸いです。本校の生徒は、本当に素晴らしい生徒ばかりですが、そこは何と言っても中学生。中には、小学生時代と違って、中々プリント類が保護者まで届かないことがあります。時々は声をかけてみてください。鞆の中で丸まっているプリントがあるかもしれません。どうぞよろしくお願ひします。

年度初めにつき、生徒向けも合わせてお読みいただきたく、次のとおりご紹介いたします。全体道徳で校長からどんな話があったのかもお子様に質問していただき、夕食時の会話の種にいただければ幸いです。生徒の感想も1年生の素直な受け止めや、学年が上がるごとの内容の深さもお楽しみください。本当に中学校の3年間の成長には、目を見張るものがあります。高校生になると経済的なこと以外は、保護者の出番はかなり少なくなるものと思われまふ。どうかお子様の中学校時代を共にお楽しみください。それには何よりご来校のうえ、色々見ていただくのが一番です。

Dear Students

～親愛なる鶴嶺中の皆さんへ～

H.30.4.9

親愛なる601名の鶴中生の皆さん、今年度最初のDSです。始業式の最初には、「今年も素晴らしい生徒の皆さんの校長でいられて、とても嬉しく思っています。」と言いました。本心です。

入学式では、鶴中の自慢は、春の桜、冬の富士山、そして、何よりの自慢は、1年中を通して「すばらしい生徒」と言いました。これまた本心です。

鶴中では、上級生にしてもらったことを下級生に返すという伝統「良心のサイクル」そして、上級生にしてもらったことを下級生に返す「恩送り」等、TSURUMINE PRIDEをもって、みんなが生活していることをお話しして「心配はいらないよ。」も伝えました。

今日、家に帰ったら、「ここまで大きくしてくれてありがとう。僕は、私は、中学校でも頑張るよ。これからもよろしく！」と伝えてください。」というお願ひもしました。このことは、1年生だけでなく、2・3年生もいつも忘れないでほしいです。下に「手紙」というbuck numberの曲を紹介しました。心のどこかで「いつも家族への「感謝」の気持ちを持ってほしいです。もう少し大人にならないとわからないかもしれませんし、大人になればきっとわかることが歌詞としてそこにあります。

入学式でお話した、あなたのことをいつも心配して大切に育ててくれている人がいるように、相手にも、その人のことを大切に思っている人がいることを忘れないでください。「みんなだれかのだいじ」を心にとめて、充実した学校生活を送りましょう！と言ったのは、そういうことです。皆さん一人ひとり、いつも家族に守られているということ。

そして、お話の最後に保護者の皆様には、「きみはいい子」という本からの一節を紹介しました。

「子どもは一人ひとり違う。一人ひとりが違う家に育ち、違う家族に見守られている。そして、学校にやって来て同じ教室で一緒に学ぶ。1枚のTシャツだって、1本の鉛筆だって、この子のために誰かが用意してくれた。その人たちの思いがこの子達一人ひとりにつまっている。」と。

先生たちは、このこと、つまり、皆さん一人ひとりには、それぞれのおうちの方の「愛」や「思い」がいっぱい詰まっていることをいつも忘れず、誉めたり、認めたり、違うものは違うよ！と教えたり、とにかく一生懸命やっていかなければいけないと思って頑張っていきます！ということ、学校を代表して、校長として、601名の皆さんに伝えておきたいと思ひます。本当は体育館で全校道徳の時にお話したかったのですが、時間の関係で割愛しました。あの時はお尻の痛みにもかかわらず20分間しっかり聞いてくれて有難うございました。「振り返り」は3ページ以降に載せてあります。どの人にとっても「考える道徳」になったようで嬉しかったです。またお話できる機会があると嬉しいです。明日の学年集会にも声をかけてもらいましたが、あいにく「校長会」で、一日円蔵中に出かけるので顔を出せずとても残念です。

手紙 / buck number

嬉しいことがあった時に 誰かに言いたくなるのは
自分よりも喜んでくれる人に 育ててもらったからなんだろうな

身体がだるくなった時は 確か生姜と八チミツで口うるさくて嫌でも思い出すよ 離れていても 守られているんだ

あなたはずっと手を振って笑ってくれた 帰り道 迷わないように

校長の天の声？

↓↓

皆さんは、正に現在進行形で育ててもらっていますね。

本当に守られてるよ。

もし前を向けなくなった時も 振り返れば いつも見えるように
愛されていることに ちゃんと気付いていること いつか歌にしよう

今は気づいてなくても、必ず気づく時が来ます。

思い上がって街を出て 思い知った拳げ句 途方にくれて
追い越していく人を恨んでみたりして
それでもいつか自分のこと 誇れるように そしてその時は
誇らしく思ってもらえるように

学校での皆さんは、自分を誇っていいし、間違いなく鶴中生は、先生たちの誇りです。

膝すりむいて帰った日は なぜか僕より痛そう
そんな記憶が形を変え 今も 離れていても 守られているんだ

あなたはずっと手を振って笑ってくれた 帰り道 迷わないように

もし前を向けなくなった時も 振り返れば いつも見えるように
愛されていることに ちゃんと気付いていること いつか歌にしよう

今日でなくてもいいので、いつか必ず「ありがとう！」を伝えよう！

ちゃんと返したいこと いつか歌にしよう

全校道徳「集団生活の充実」の振り返りを紹介します。

※集団生活をする上で大切にしたいことは、他人（自分以外）を尊重すること。自分が中心で生活するので

はなく、**集団の一人ひとりが思う存分個性を出せるような、思いやりで他人を尊重したい。**自分は、One for all.みんなは、All for one.「みんなだれかのだいじ」なので、互いに信頼・尊重・認め合い、鶴中生生活最後の集団生活をより良いものにしたい。（3年生男子）

→縦倍角にしたところが特にすばらしいです。滅私奉公を目指してはいません。もちろん、集団生活の中では「**しなければならぬ我慢**」はありますが、それは社会生活をしていく上で大切なことに関わるようなことに関してだけです。一人ひとり、名前も顔も違うようにそれぞれに個性があり、それこそ、金子みすゞさんの言う「みんな違ってみんないい」です。違うものを排除するのは「インクルーシブ」の対極で、残念なことです。

※校長先生の話す鶴中のルールを聞いて、「自分はもうルールを守れている」と感じる事ができました。しかし、集団生活では、「**みんなが規則を守れている状態**」でなければなりません。そして、入学して来た1年生は規則がわからないことも多いはず。「みんな」がルールを守るには、ルールを守ることができている側が、ルールを知らない側に教えなければなりません。つまり、自分たちが1年生に教える必要があります。その際、教える側というのは、ルールを「守っている」だけでなく、「理解」していなくてはなら

ないと思います。それはつまり、**ただルールを守るだけでなく、「何のために、どういった理由でそのルールがあるのか」を知る必要がある**ということです。1年生にルールを適確に伝えていくために、より意識的にルールの「意味」を理解して実行できるようにしたいです。（3年生女子）

→すばらしい！教える側のことに触れていて、その内容もさすがは3年生です。命に関わる場面で「女性は土俵から降りてください」という伝統を守る発言が物議をかもししています。これには驚いていますが、鶴中にある「約束事」（あえて「ルール」とはいいません。）は、皆さんの集団生活が誰にとっても快適で、誰にとっても不利益を受けないように、また、社会に出た時には普通に求められることに関してだと思っています。もちろん、個々に対応しなければいけない配慮もありますので、そこは他の人にも理解をしてもらいたいですし、土足はやめようと言っても、避難訓練や緊急時にはその限りでないのは当たり前です。

※私が大切にしていることは、先生たちへの敬語です。もちろん、尊敬している先輩にもしていきたいです。特に大切にしたいのは、下級生ファーストで、**1年の時に道が混んでいて通れなくて困っているときに、「1年生いるよ！」と誰かが言ってくれたそんな先輩になりたい**です。そして、もう2年生か・・・と思っています。（2年生女子）

→「**優しくされた人は優しくできる**」と確信しているのですが、やっぱり鶴中生はすばらしい！

※自分と同じように集団生活している**仲間と仲良く笑顔で挨拶をしっかりすることが大事だ**と思いました。なぜかというと、下級生 Firstなどは、普段からのクラスでの協力、励まし合いなどが、より良い鶴中に必要なことであり、**言われてやるのではなく、快く自分から動いたり、新しく来た先生などを助けることも大切**

なことだと思いました。**校長先生が言っていた一人ひとりの安心・安全も基本的なことができていれば、心も落ち着いて過ごせるんじゃないかな**と思いました。それを毎年つなげていくには、**1年生を大切に、部活などでも優しく教えてあげることが、不安で入ってきた1年生も毎日楽しく過ごせると思うので、できるかぎり支えてあげよう**と思いました。（2年生女子）

→すばらしい！毎年つないできているからこそ、2・3年生も1年生を守ろうとしてくれているのだと思います。「**I組だとかD組だとか言っていないで一緒にカレー作ろう！**」という名言を残してくれた先輩もいましたが、1年生だとか2・3年生だとか言っていないところがすばらしいです。1年生も2年生も3年生もみんな「鶴中生」なんだから、**TSURUMINE PRIDEをもっと一緒に団結して頑張っていきましょう。**

※自分は校長先生の話聞き、2分前着席、5分前行動など言っていたことはすべて守り、大切にしたいと思

いました。また、**校長先生が言っていたことがすべてできれば、鶴中生活がもっと良くなると思いました。**
(2年生男子)

➡すばらしい！「できる・できない」ではなく、「やろうとするかどうか」が大事だと思います。いつも一生懸命やっているけど、たまに忘れちゃうなんて言うのは、人間らしくていいと思います。その時に、日頃がんばっている君なら、きっと周りも「どんまい！」と言ってくれるでしょう。

※校長先生の話聞き、自分の知っている中では、いじめはなく、楽しい中学校というのが、自分の中の鶴中のイメージだけれど、今日の話で日常生活のささいな行動からもいじめへとつながってしまうことがわかったので、これからは「自分は関係ない」ではなく、普段から自分の行動を気にして、嫌な思いをする人がいないように心掛けたいと思いました。(2年生女子)

➡すばらしい！話を聞いて、「想像力」を働かせてくれるあなたのような生徒がたくさんいてくれるので、鶴中はすばらしい学校なんだと思います。

※校長先生の言うとおりの雰囲気大切に中学校生活をしていきたいと思えます。まだまだ不安などがありますが、雰囲気づくりをしながら中学校生活を楽しんでいきたいです。校長先生の話は聞きやすく面白く、興味をもつ話をしてくれてありがとうございます。また次の話を聞くのが楽しみです。「顔なし」の話、楽しみです。(1年生女子)

➡初めての私の話を興味をもって聞いてくれて有難うございます。「顔なし」の話は、千と千尋とは全く関係のない話なのですが、皆さんにあることを投げかけたいと思っています。

※初めて鶴中に来た時は、とても緊張していたけれど、校長先生が「大切なのは雰囲気」と言っていたので、中学生という自信をつけなければいけないと思い、これから高校に行くまでの3年間、校長先生のおかげでがんばろうと思いました。

➡卒業した先輩や2・3年生のおかげで、鶴中の雰囲気は大変素晴らしいので安心して生活して下さい。

※校長先生のお話を聞いて、いつも自分の思っていることや言いたいことをうまく言えないから「ありがとう」「ごめんなさい」「お願いします」をちゃんと言いたいと思った。ピンクのTシャツのお話を聞いて、とっても感動した。いじめは絶対にいけないと思った。雰囲気はみんなが協力しないといい雰囲気にはならないから、自分も気をつけようと思った。(1年生女子)

➡この3つの言葉言うべき時に、はっきり言えることは大人になっても信頼される大事な要素だと思います。私のお手本は「ごめんなさい」が多く残念でした……。皆さん、同じ時代に生まれてくれてありがとう！鶴中に通って来てくれてありがとう！はいつも思っています。

※**とても有難いと思った。校長先生や先生方が僕たちが暮しやすいように頑張ってくれて、とても嬉しかった。**

いじめの話が出て来て、いじめを見たら放っておくのではなく、しっかり対処していかなければならないと思った。そして、中学校で社会に出る準備をしっかりやっていこうと思った。そして礼儀を中学校で大切にしていきたいと思った。校長先生の言ったとおり、しっかり時間を守り、しっかり勉強していきたいと思いました。(1年生男子)

※(前略) **校長先生のスピーチはとてもよくできているなど、とても感心しました。**お忙しい中、ありがとうございました。(1年生女子)

➡お誉めいただき、ありがとうございます。2・3年生の採点はもっと厳しいと思うので、今回の出来はどうだったか聞いてみたいです。

※校長先生の話聞いて、努力も頑張りたいけど、雰囲気作りもすごく大切だと思った。そしてまずは、クラスの雰囲気をよくしていきたい。**まだ、中1だけど、ピンクのシャツみたいに、下の学年をちゃんと見て、下級生ファーストをやりたい。**(1年生男子)

➡すばらしい！現在の6年生を温かく迎えられるよう、この1年間、上級生を真似てがんばりましょう。



【1年生】



【2年生】

2年生には1本だけなのに、1年生には2本の傘があります。3年生には傘がありません。

1年生の皆さん、意味わかりますか？

鶴中では、1年生は、2・3年生に守られ、2年生は3年生に守られています。

3年生のことをかわいそうに思うかもしれませんが、今まで上級生に守られてきたので、今度は「学校の顔」として大活躍し、守る立場になりました。

それに鶴中学生は全員、校長以下たくさんの先生方に守られているので、心配は無用です。そして、皆さんは全員、保護者の傘に守られているからこそ、今の生活があるわけです。心から感謝しないとイケません。

(文責：いよいよ601名が揃い、71年目を迎える新生「鶴嶺中」が始まり、ワクワクしている校長)